

令和6年第2回境港警察署協議会開催状況

開催日時	令和6年7月1日(月)午後3時から午後4時30分まで	
開催場所	境港警察署	
出席者	委員 (定数6人)	山口会長、角委員、伊佐治委員、高梨委員、持田委員 以上5人
	警察	福本署長、建部管理官、角生活安全刑事課長、岡本交通課長、南家警備課長、松浦会計課長、警務課員3人 以上9人
議 事 概 要		
<p>1 会長等挨拶 会長、警察署長が挨拶を行った。</p> <p>2 出席者自己紹介 委員及び管理官以下幹部が自己紹介を行った。</p> <p>3 治安概況等説明 生活安全刑事課長及び交通課長が管内の治安概況等の説明を行った。</p> <p>4 協議事項等 会長が、特殊詐欺被害防止啓発活動について協議することを提案し、生活安全刑事課長が特殊詐欺の現状と被害防止のための取組状況などについて説明した。 委員からの主な意見とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：地元高校生と協働して特殊詐欺被害防止活動等を行ってみてはどうだろうか。 また、委員も活動の一環として広報活動に協力できればよいと思う。 委員：地区の老人会グループの会合に警察署から来ていただき、特殊詐欺について話をしていた。警察が取り組んでおられる「伝える巡回連絡」は、直接お年寄りとして話をすることができ、大変良い取組であると感じた。 委員：コンビニなどで一定の金額以上の電子マネーを購入するお客さんがいれば、警察に通報するという他県の取組を聞いたことがある。他県等の取組を参考に、他機関、民間と協力してやってみてはどうだろうか。 委員：実際の特殊詐欺電話の音声を聞いたが、30歳代の私でも信じてしまうかもしれないと思った。税金や年金などの手続は、複雑であることから、引き続き市などと協力していただきたい。 警察：警察も特殊詐欺被害防止に向けて、いろいろな取組をしているところであるが、いただいた貴重な意見をもとに、短期的や長期的にできることを検討し、今後もいろいろな視点で取り組んでいきたい。</p> <p>5 質疑応答 委員：警察署で様々な特殊詐欺被害防止啓発活動を行っているが、その活動で効果的な</p>		

事例があれば教えていただきたい。

警察：管内各戸を訪問し、直接特殊詐欺の手口や被害防止方策を伝える活動を行った結果、特殊詐欺の電話を受けた高齢の方から「警察官から直接話を聞いていたおかげで詐欺だと分かり、被害に遭わなかった。」旨感謝の言葉があった。

また、特殊詐欺の電話等を認知した際、防災無線で注意喚起を行ったところ、数件、警察署に相談電話が寄せられ、被害を防止することができた。

6 その他

次回協議会は、令和6年9月頃に開催する予定である。